

日本マス・コミュニケーション学会秋季研究発表会
研究発表論文集の執筆要領と作成例（2011）
Guidelines and Example for Proceedings of Journalism and Mass
Communication Conference (2011)

作成 一郎¹，大会 愛子²
Ichiro SAKUSEI and Hanako TAIKAI

¹日本マスメディア大学 マスメディア学部 マスメディア学科 Nihon University of Mass Media
²株式会社マスコミ研究所 Institute of Mass-Commi Co., Ltd

要旨・・・この文書ファイルは、日本マス・コミュニケーション学会の春季研究発表会、秋季研究発表会の「研究発表論文集」の執筆要領を兼ねています。発表者は、できるだけこのフォーマットに沿って原稿を作成してください。この執筆要領自体が（ページ数を除き）原稿作成例になっています。

キーワード マスメディア、ジャーナリズム、論文集、執筆要領、日本語、English

1. はじめに

できるだけ、次のフォーマットに従って原稿を作成してください。この執筆要領自体が（ページ数を除き）原稿作成例になっています。

2. レイアウト

(1) マージン等

- ・上 30mm、下 30mm
左 25mm、右 25mm
- ・本文 1 段組

(2) フォント等

- ・互換性確保とレイアウト保持のために、和文フォントは原則として MS 明朝、MS ゴシックを、英文フォントは TimesNewRoman (Regular,Bold) を使用してください。
- ・題目：天ツキ（前に空の改行は入れない）、和文はゴシック 14pt、中央揃え、左右各 35mm のマージン。その下に Times New Roman 14pt で英文題目。
- ・著者名：題目とのあいだに 12pt で 3 行アキ、和文は明朝 12pt、中央揃え、左右各 35mm のマージン。その下に Times New Roman 12pt で英文著者名。大会報告者に○印（大学院生の場合には◎）を付す。
- ・著者所属：著者名とのあいだに 12pt で 1 行アキ、和文は明朝 9pt、中央揃え、左右各 35mm のマージン。その右に Times New Roman 9pt で英文所属。
- ・要旨：著者所属とのあいだに 9pt で 1 行アキ、要旨は、日本語で記述。ゴシック 9pt で要旨と表示した後、適宜空白をあけて明朝 9pt で左右各 35mm のマージン。
- ・キーワード：要旨とのあいだに空の改行は入れない、キーワードは、中央揃え、左右各 35mm のマージン。ゴシック 9pt でキーワードと表示した後に、適宜空白をあけて、5 語以内。
英文の場合：Times New Roman 9pt。
和文の場合：明朝 9pt。
- ・本文：明朝 9pt、段落替えの場合は 1 字下げ。キーワードと本文のあいだは 9pt で 3 行アキ
一句読点：、。の組合せ、。の組合せ、。の組合せのいずれも可

- 一章の見出し：ゴチック 10pt, 左寄せ。前の段落から1行アキ
- 一節の見出し：ゴチック 9pt, 左寄せ。前の段落からアキ（空の改行）なし
- 一図,表,写真のキャプション：ゴチック 9pt, 中央揃え

- ・補注, 参考文献の指示：明朝 9pt の右肩上付き 1/4 角を原則としますが, 各学問分野の慣例に従っても構いません。
- ・補注(必要な場合)：“補注”はゴチック 10pt, 左寄せ, 補注自体は, 明朝 8pt, 前の段落から2行アキ
- ・参考文献：“参考文献”はゴチック 10pt, 左寄せ, 参考文献自体は, 明朝 8pt, 前の段落から2行アキ

(3) 行数および字数

本文組は以下のように変更。本文1段組。1ページにつき50字×45行、字送り9pt、行間14.9pt

(4) ページ数

・題目から参考文献までを含めて、全部で4ページまたは6ページとしてください。できるだけ偶数ページに収めるようご協力願います。

(5) ヘッダー

- ・ヘッダーは、本執筆要項のヘッダーを、左右のページに右寄せでつけてください。上からのヘッダー位置は、15mm
明朝、9pt

(6) フッター

- ・ノンブル（ページ番号）.下からの位置は15mm、左右中央、明朝9pt.

3. 英文論文への適用

本文を英文とする論文の執筆要領は、本文が和文であることを前提として作成したこの「執筆要領」に準拠してください。
本文のフォントは、Times New Roman 9pt を基本として使用してください。

補注

補注は論文の最後につけても脚注の形でも結構です。

参考文献

パーレン（丸括弧）は半角モノを使用、パーレンの前後は半角アキ、邦訳書誌はパーレンでくくる。邦訳書名、訳者名、邦訳版元名、邦訳発行年の順に表記。ただし各分野の慣例に従ってくださってもかまいません。

- 1) 田中一 (1997): 情報と情報過程の層序, 『社会情報学研究』 No.1, pp.3-16.
- 2) McLuhan, M. (1962) *Understanding Media* McGraw Hill (『メディア論』, 栗原裕, 河本仲聖訳, みすず書房, 1986.)